

歯周病の進行と症状

歯肉炎

歯垢が蓄積して歯石（歯垢が石灰化したもの）が沈着。細菌が繁殖して歯と歯茎の間に炎症し、出血しやすくなる。炎症は歯茎に限局。

軽度歯周炎 (P1)



歯肉炎が進行し、炎症が歯を支えている骨にまでおよんだ状態。歯周ポケットの溝が深くなる。

中等度歯周炎 (P2)



溶ける骨の量が多くなり、歯周ポケットもより深くなる。歯が左右に揺れたり口臭がきつくなる。

重度歯周炎 (P3)



骨の組織を破壊し骨を溶かす。支えを失った歯は抜け落ちる。

歯周病を予防する

甘い物の摂取量（料理に使用する砂糖の量にも注意）を控えたり、ストレスをためない等ありますが、1番の予防はやはり「歯磨き」です。歯磨きせずに放っておくと歯垢が付着してい

きます。さらに時間が経てると、フィルム状の細菌の塊としてバイオフィルムが作られていきます。しっかりと歯磨きをして歯垢を除去しましょう。デンタルフロスなどの補助用具を合わせて使用するというでしょう。

ただ、このバイオフィルムはセフルケアだけでは完全に除去することが難しいので、歯科のプロフェッ

ショナルクリーニングで細菌コントロールが必要で

ます。さらに時間が経てると、フィルム状の細菌の塊としてバイオフィルムが作られていきます。しっかりと歯磨きをして歯垢を除去しましょう。デンタルフロスなどの補助用具を合わせて使用するというでしょう。

ただ、このバイオフィルムはセフルケアだけでは完全に除去することが難しいので、歯科のプロフェッ

ショナルクリーニングで細菌コントロールが必要で

で60%、75歳以上で85%を越えると言われています。



第6回だよ！

ブーケちゃん

第6回 さめじま先生教えて！

歯の健康について大切なことをさめじま先生が分かりやすく解説。一生つき合っていく「歯」のこと、みんなしっかり考えよう！！
※プロケード偶数月号掲載。

Q歯周病と歯肉炎はどんな病気？

どちらも細菌感染による病気です。歯肉炎は歯茎が腫れ出血し、炎症が歯茎に限局している状態。歯周病は歯肉炎が進行したもので、歯を支えている骨が破壊されて弱くなっている状態です。歯槽膿漏という言葉は、この2つの総称です。

Q細菌感染が原因ということは移る可能性がありますが？

虫歯も歯周病も細菌由来の病気なので移る可能性がありますが、菌がいるだけで歯周病になるわけではありませんが、お子さんとの箸の共有や、回し飲みなどは気を付けましょう。

沈黙の病気

歯周病は進行をしても自覚症状がほとんどない病気です。チェック表の一つでも当てはまる方は歯周病の可能性が高いです。体調やストレスにより、一時的に歯茎がむずがゆい等の違和感が出ることもあります。

歯周病チェックリスト

- 歯茎が腫れたり出血する
- 朝起きた時口の中がネバネバする
- 口臭がある
- 歯と歯の間に食べ物が挟まりやすくなった
- 歯が長くなった
- 冷たいもの熱いものがしみる
- 歯がぐらつく
- 歯茎がむずがゆい
- 硬いものが噛みにくい

一つでもチェックが入った方は早めに受診を！



健康な歯

歯垢や歯石がなく、歯茎がきれいなピンク色。歯と歯の間が鋭角三角形。

歯科さめじま ☎ 045-823-4181



さめじま先生は東戸塚出身。口のトラブルから最新の予防歯科にいたるまで最善の歯科医療を提供。義歯や差し歯などを製作・修理する歯科技工士が常駐しているので、精度が高く品質の良いものを医師とコミュニケーションを密に取りながら作り上げる。その場でフィッティングや色の確認ができるため安心と、患者さんにも好評。地元に着した歯科だからこそ、多くの人に長年支持されている。



住所：戸塚区品濃町 563
ネオポリストキワ V2F
東戸塚駅徒歩 10分
駐車場あり
診療時間：9:30～18:30（昼休憩なし）
土曜は 17:30 まで
休日：日曜、祝日
HP：http://samejimahdc.jp